

令和5年5月17日

令和5年5月臨時会  
副議長選挙に係る所信表明会会議録

長岡市議会

令和5年5月17日（水）午後1時24分開会

※

◎所信表明申出者（1人）

山 田 省 吾 君

※

（加藤議長） ただいまから、副議長選挙に係る所信表明会を開催いたします。

※

（加藤議長） 本臨時会における副議長選挙については、1名の議員から所信表明申出書の提出がありました。これより、所信表明申出者から演壇において5分以内で所信表明を行っていただきます。

なお、令和5年5月臨時会における正副議長選挙に係る所信表明会実施要領により、所信表明に対しては拍手その他の方法による賛意の表明や、野次その他の方法による反意の表明をしてはならないことになっております。また、応援演説及び質疑を行うことはできませんので、御注意願います。

それでは、山田省吾議員、所信表明をお願いいたします。

〔山田省吾君登壇〕

（山田議員） 副議長選挙の実施に当たり、所信を述べさせていただきます。長岡令和クラブの山田省吾といたします。

3年以上にわたり、新型コロナウイルス感染症に見舞われてきましたが、今月8日、新型コロナウイルス感染症は法律上の位置付けが季節性インフルエンザと同じ5類へと移行し、以前のような社会経済活動ができるようになりました。感染対策に御協力いただいた医療従事者の皆さんほか全ての方々の並々ならぬお力のたまものと認識しております。改めて皆様にお礼申し上げます。

私は、今までも副議長として、行政と一体となり新型コロナウイルス対策に努めてまいりましたが、これからは感染対策も講じながら通常为社会経済体制に転換し、コロナ禍前の活動ができるよう対応し、今まで停滞していた経済を行政と一体となって活性化していきたいと考えております。

また、私は合併地域の旧寺泊町出身であり、町時代から町議会議員として務めてまいりました。近年、長岡市を含めた全国の地方公共団体は、人口減少や少子高齢化、地域活性化など、多くの諸課題を抱えております。合併地域出身

だからこそ地域の実情を熟知し、積極的に地域住民の声を聞きながらその声を行政に届け、地域の発展、住民生活の環境向上に向けて、住民と行政との潤滑油になるべく議員活動をしてまいりました。これらの課題に対しても、議会として行政としっかりと連携し、今まで以上にその役割を果たしていかなければなりません。新型コロナウイルス感染症がようやく落ち着きを見せたときだからこそ、できる取組を行政と一体となって加速していく。これが今、市民の負託に応える、議会に求められていることだと認識しております。

私はこの困難な局面だからこそ、歴史と伝統ある長岡市議会の立派な部分を継承しながら、初心を忘れず、原点に返り議員活動をしてまいります。そして引き続き、議員各位からお力を頂きながら、令和の時代にふさわしい長岡市議会になるよう、議長を補佐し、新しいことに挑戦し、市政の発展、地域活性化を進め、コロナ禍後における市民生活の安全・安心のために貢献していきたいと決意しております。

皆様の御賛意と御支持をどうぞよろしく願いいたします。御清聴ありがとうございました。

————— ※ —————

(加藤議長) 以上で副議長選挙に係る所信表明会を終了いたします。

午後 1 時 2 9 分閉会

————— ※ —————